

2021年7月29日  
南海電気鉄道株式会社

## 南海沿線のアレルギーフレンドリーなお店紹介WEBサービス 『『CAN EAT 外食マップ』南海沿線版』7月29日(木)公開開始！

南海電気鉄道株式会社(社長:遠北 光彦、以下「南海電鉄」)は、食物アレルギーがあっても利用しやすい南海沿線の店舗情報を掲載したWEBサービス『『CAN EAT 外食マップ』南海沿線版』を、2021年7月29日(木)に公開します。

同マップは、株式会社CAN EAT(代表取締役:田ヶ原 絵里)が提供する食事制限のある方の声を集めたお店紹介WEBサービス「CAN EAT 外食マップ」とタイアップして、今年4月から情報投稿者(キュレーター)を募集して投稿を募り、南海沿線の飲食店や中食提供店(テイクアウト等)の情報を集めて公開するものです。

今回の取組みは、子育て世代をターゲットにした沿線価値向上施策「家族にえがお+1プロジェクト ～“あったらいいな”がある沿線～」の第1弾となります。今後も引き続きキュレーターを募集し、マップの更新を継続していくことで、食物アレルギーのある方も安心して食事を楽しめる仕組みを提供するとともに、南海沿線が「くらしたいまち」として選ばれ、愛着をもっていただけるような施策に取り組めます。詳細は以下のとおりです。

### 【『『CAN EAT 外食マップ』南海沿線版』について】

1. サービス名 「CAN EAT 外食マップ」南海沿線版

2. 公開日時 2021年7月29日(木)14時

3. URL

<https://nankai-ensenkachi.com/news/newsrelease/caneatmap>

4. 内容

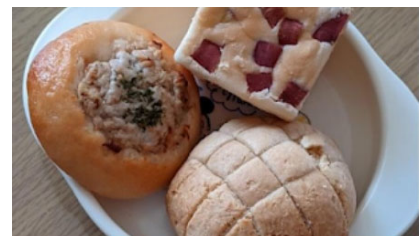
- (1) 飲食店や中食提供店(テイクアウト等)の店舗情報(店名や所在地、写真、おすすめする理由)の掲載
- (2) 飲食店や中食提供店(テイクアウト等)の店舗情報の投稿

5. 掲載対象の店舗

南海沿線の市町村で営業している飲食店や中食提供店  
(テイクアウト等)

※大阪府:大阪市(中央区、浪速区、西成区、住之江区、住吉区)、堺市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、和泉市、富田林市、大阪狭山市、河内長野市  
和歌山県:和歌山市、橋本市、九度山町、高野町

6. 運営 株式会社 CAN EAT



← kamamuro cafe 1 plate ~7大... →

名前

kamamuro cafe 1 plate ~7大アレルギー不使用~ ※完全予約制《米粉パン(グルテン不使用)・アレルギー対応・ケーキ》《大阪・堺》※現在ランチ休止中

説明

・完全予約制で、7大アレルギー不使用のランチ、パン、お菓子、ケーキを提供してくれるお店です。

『『CAN EAT 外食マップ』  
南海沿線版』掲載一例

※本日『『CAN EAT 外食マップ』南海沿線版』に関するリリースを、株式会社 CAN EAT も発表しています。

NEWS RELEASE

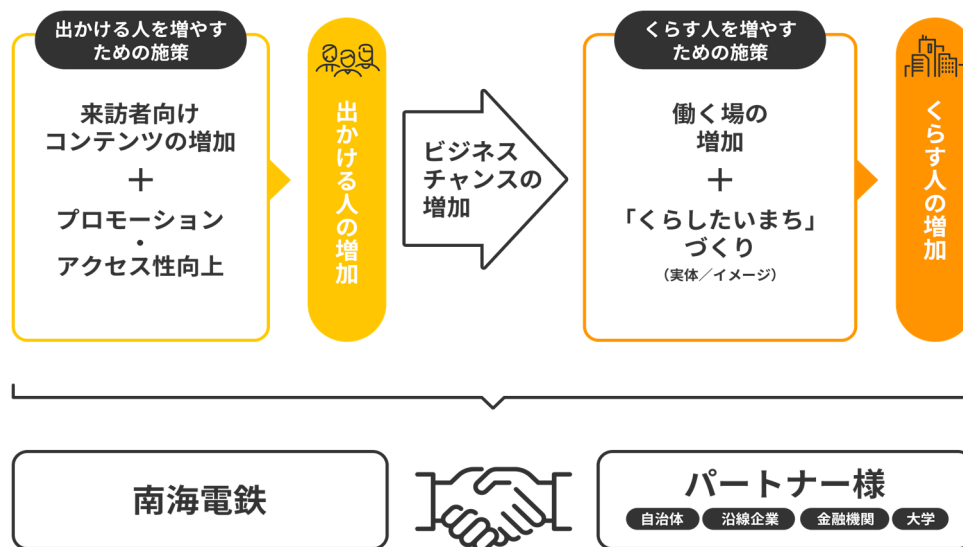
参考

子育て世代をターゲットにした沿線価値向上施策  
 「家族にえがお+1プロジェクト ～“あったらいいな”がある沿線～」について

1. 背景

当社では、沿線定住人口の社会増の実現に向け、全社的なプロジェクトとして事業基盤である南大阪・和歌山の沿線価値向上に取り組んでおり、①「くらす人」と「出かける人」を増やすアプローチ ②沿線を中心とした様々なパートナーとの共創 の2つを軸とした施策を展開しています。

今般、「くらす人」を増加させるための施策の一環として、子育て世代をターゲットに、南海沿線でくらすことを楽しいと感じ、愛着をもっていただくことを目的に「家族にえがお+1プロジェクト ～“あったらいいな”がある沿線～」に取り組みます。



※沿線価値向上プロジェクト紹介サイト(<https://nankai-ensenkachi.com>)もご参照ください。

2. 「家族にえがお+1プロジェクト ～“あったらいいな”がある沿線～」概要

当プロジェクトでは2つの方向性を設定しています。

1つ目は、日々、仕事・家事・育児に追われている子育て世代に対して、「日常の家事・育児・困りごと」を家族や地域でシェアして、ストレスを緩和する機会を提供することです。2つ目は、親の願いである、子どもに「(体は)元気に、(心は)逞しく、(頭は)賢く」育ててもらふことを目的として、海や山などの自然が豊かである南海沿線の地域資産を活かして、幼少期に多種多様な好奇心の芽を育てる機会を提供することです。

これらの方向性に沿った様々な施策を展開し、毎日の生活に「えがお」を1つ足してもらおう、そのような想いを込めています。

上記の方向性を具体化すべく、当プロジェクトは「#家事シェア、#育児シェア、#困りごとシェア、#アウトドア、#インドア、#社会体験、#食育」などのテーマを設定して、展開します。今回の「『CAN EAT 外食マップ』南海沿線版」は、「#困りごとシェア」と「#食育」の2つのテーマに対応する第1弾施策となります。

## NEWS RELEASE

### 3. 今後の展開

ターゲットのニーズや時代の変化に応じて柔軟にテーマを対応させ、様々な企業や行政等のパートナーと協業して施策を展開していくことで、沿線にお住まいの子育て世代はもちろん、沿線外にお住まいの子育て世代にも南海沿線を選んでいただけるよう「住み続けたいくなる居心地のいいまち」を実現し、2代、3代と長期にわたって暮らし続けてもらえる「選ばれる沿線」を目指します。

以上

南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。  
今回ご案内の取組みは、3番、12番、17番に繋がるものです。

